表面技術とものづくり研究部会　第 35 回例会
金属部品の不具合調査方法と調査事例(II)

金属部品の不具合調査は、不具合発生の原因究明や再発防止策の立案だけでなく、調査で得られた知見を共有し、同様の不具合を未然に防止することが重要です。そこで本例会では、昨年に引き続き「金属部品の不具合調査」をテーマに、不具合調査の手法と具体的な調査事例についてご講演いただきます。

金属部品の破損が発生した場合には、製品側および使用者側の両面から破損要因を検討し、適切な再発防止策を立案することが理想です。しかし実際には、限られた時間・情報・予算の中で効率的かつ確実に原因を特定することが求められます。その中でも破断面観察は、破壊に至る過程を把握できる有効な手法であり、不具合調査において重要な位置を占めています。

本例会では、破断面観察を中心とした不具合調査手法に加え、金属組織の評価や材料・加工に起因する不具合事例、調査時の着眼点などについて、実際の事例を交えながらご紹介いただきます。全体質疑では講演に関わることだけではなく、日頃の業務での課題や疑問などに対して、この分野の技術に精通した幹事がお答えします。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

共　　催　(一社)表面技術協会 表面技術とものづくり研究部会
　　（地独）東京都立産業技術研究センター
日　　時　2026 年 12 月 4 日（金）　13:25～16:35
会　　場　東京都立産業技術研究センター本部　5 階　531 会議室
　　（東京都江東区青海 2-4-10）
開催方法　ハイブリッド（対面＋オンライン）
プログラム
13:25-13:30　開会挨拶
13:30-14:30　不具合調査概論～金属製品の損傷とその原因調査法～
　　仁平技術士事務所　仁平　宣弘
14:35-14:45　休憩
14:45-15:15　材料・加工プロセスにおける不具合事例と注意点
　　（株）古賀総研　寺門　一佳
15:15-15:25　休憩
15:25-16:10　都産技研における不具合調査事例
　　（地独）東京都立産業技術研究センター　中村　勲
16:10-16:30　全体質疑
16:30-16:35　閉会挨拶（次回案内等）
17:15　　技術交流会（有志、別途案内）
定　　員　対面 30 名、オンライン 30 名
参 加 費　部会会員 1 社 2 名まで無料、表協会員 1 名 10,000 円、一般 15,000 円
申込方法　参加希望の方は「表面技術とものづくり研究部会 第 35 回例会 参加希望」と明記のうえ，(1) 氏名，(2) 所属，(3) E-mail アドレス，(4) 請求書が必要な場合は郵送先、参加方法（対面またはオンライン、技術交流会参加有無）を記載し，下記あて電子メールにてお申込みください。
　　申込先
　　(一社)表面技術協会「表面技術とものづくり研究部会」事務局
　　E-mail：info@sfj.or.jp，TEL：03-3252-3286，FAX：03-3252-3288